



助産師の関正節さん。子どもを取り巻く環境を変えたいとパワフルに活動しています（高知市池の高知医療センター）

「いのちの教育」県内浸透を

子育て応援ウェブメディア「ココハレ」のお薦めコンテンツを紹介する「ココハレピックアップ」。今回は「ココハレインタビュー」から助産師の関正節さんです。県看護協会で「いのちの教育」を進めています。

県看護協会（高知市朝倉）で1月、シンポジウムが開かれました。関さんは助産師職能委員長として、「医療、福祉、学



助産師・関さん（県看護協会）推進

つになりました。「助産師が自他を大切にすることまで伝えられるのか、と悩みました」

校、地域が一体となり、生きる力を育む活動を深めていき地域で困っている課題を抽出し、解決に一歩踏み出せるように、解決に「解決に」

関さんは主に病院の助産師と授業をした」と決意。「看護して、育児と両立させながら不職が性教育を変えよう」と呼び妊症の認定看護師の資格を取掛け、2017年から活動を始め、大学院に進むなどキャリアめました。

を積み重ねました。45歳で高知医療センターへ。新生児集中治療室なく、自他を大事にすることを（NICU）の科長となった小学校から系統立てて伝える新頃、看護協会の出前授業で性教育の性教育です。東京医療保健育に携わり始めました。

学校で性教育を行う際は、教員との打ち合わせが大切です。重ねました。大学の渡会睦子さんをアド

命の誕生や性感染症など要望に「県教委とつながり、出前授業に「自分と他者を大事にする話。少しずつ変わってほしい」と求められるよう、まだまだ」



イン子わ介
ハレでは携紹
ココハレをす
タビ支さんま
育て皆さい

（門田朋三）